

1月運交山行

前武尊

1月24日(日) ◎, ⊗

シ. 西川, 長谷川, 加藤, 今井, 高野吉, 鈴木, 蔵田, 手塚
高橋真, 馬場, 作野, 陶山, 橋本, 菅沼, 柴崎

15人もの人々が行列を作つて登つたのです。前武尊スキー場のリフト上部からほぼ稜線沿いにきっかり2時間。ブッシュもけこうでまいたような、でも昨夜来の新雪が膝位まで積もつていて帰りが楽しめ、全員快調なペースで登つたのです。シールがはがれたり、しめ具を調整したり、ずっこけて雪まみれになつたりと、人数が多ければそれなりにあれこれあつたりする訳ですが、「船頭多くしてスキー山に登る」の諺もあるとか、人数が多ければそれなりに何でも解決してしまうものです。山頂では、ヤマトマケルのミコトとかの銅像の膝あたりから上がしっかり見えていて、雪の少なさを思い知らされる。吹きさらしの山頂は早々に酔して、お待たかねの滑降に入る。前半は、期待通りのすばらしい新雪をつかの間堪能し、後半は、ブッシュの合い間をぬうようにして、それぞれがそれぞれの滑りをそれなりに楽しめた事と思う。時間や金銭面等々考えるとちよつと中途半端な山行だな、と感じもしたけど、シーズン初めの足ならし、と感じて、手、いいかな。(手塚記)

9:30 前武尊スキー場リフト上 — 11:35 前武尊 — 12:40 リフト上
12:05

感想

高野吉雄

クラブ入会以来初参加の山スキー、2~3日前からの天気予報は、あまりよくなく少々心配。当日は、小雪の中、たいして荒天でもなく、天候はまあなんとかといった所。雪質も良く、でも2時間あまりのシール登行は、少々まいりました。途中ストックリンドがとれたりしましたが、先輩の助けでどうにかきりぬけました。下りは、楽しむというより、どうにかこうにか滑りおろしてくる(転がらぬ?)でした。私のスキーレベルでは、楽しく滑るという前段階で、次は雪の状態の良い春がいいですね。